



こもれび新聞

2023年
11月号

連絡先：〒197-0825 東京都あきる野市雨間385-2 電話 042-550-3030 FAX 042-558-0756
発行者：社会福祉法人さくらぎ会・特別養護老人ホーム こもれびの郷・広報委員 <http://www.komorebinosato.or.jp>



消火器を使って消火訓練

十月二十五日、秋川消防署、緑の里自治会、あきる野市立東中学校、さくらぎ保育園、こもれびの郷、設備関係者として参加した防災協定をもとにした総合防災訓練を行いました。当日は地震と火災という想定で、通報、被害状況確認、避難誘導、消火といった一連の流れで訓練を行いました。訓練時は、藤田施設長が災害対策本部長となり、各部署からの報告や消防署への対応などを的確に進めてまいりました。また、訓練後の体験研修では消防署員の皆様のご指導で参加者が、消火器消火、消火栓消火、けむり体験などを行いました。訓練後は消防署の指導者よりお褒めの言葉もいただき、さらに貴重なアドバイスをいただきました。大変意義のある訓練となりました。今後とも日頃の訓練をしっかりと行い、万全の備えをして参ります。

地域総合防災訓練



防災訓練の緊迫した様子



会に華を添えてくれたのは、さくらぎ会発祥の地、下平井地区の「鳳凰の舞」とさくらぎ保育園の卒園児が多く在籍する「桜木囃子」のみなさんでした。勇壮な、そして華やかな舞やお囃子に来場の皆様も大いに楽しまれておりました。

特別養護老人ホームこもれびの郷を運営する社会福祉法人さくらぎ会は、本年創立五十周年を迎えました。去る10月29日、日の出町のさくらぎ保育園大ホールにて五十周年記念式典が行われました。衆議院議員の井上信治先生をはじめ多くの来賓の皆さまにもお越しいただき盛大に会を催すことができました。会では勤続50年を超える職員を筆頭に永年勤続表彰も行われました。保育園の園長からは「さくらぎ会は一人ひとりの力で支えられています。感謝の言葉が送られました。」

法人創立五十周年式典



シリーズ新しい介護③

基準の見直しを

物流の2024年問題が話題になっていきます。これはトラックドライバーの時間外労働が制限されるといふことから始まる問題です。この制限によって、国内の輸送力が減少し、それによってモノが運ばれなくなる、よってモノが売れない、作れない、という悪循環が予想されています。これに対しては、各社の共同配送や鉄道などの他の輸送手段への振り分け、更には自動運転やコンパクト包装など様々なことが検討されています。

また、国会では福祉関係の人材確保問題も取り上げられていました。障がい福祉関係者も人材確保にも関係した記者会見などを開いておりました。

つまるところ、日本中のあらゆる職種で人材が不足しているのです。これらの問題の解決策によく言われるのが「待遇改善、賃金の見直し」という常套句です。ですがこれは根本的な解決にはなりません。なぜなら人が集まった場合でも、その人が他の業界、あるいは同業他社から人が移っただけということから、頭の良い人たちがそれをわかっていないはずがないのにそれを言い続けるのは何かを隠しているからではないでしょうか。

やはりルールの見直しが必要ですが、既存の権益や権利を守るようなルールを、そして実情に合わない基準を見直すべきです。そして人口減社会に見合った再設定を行うべきです。

調理室より

管理栄養士 荒井みさき

朝晩はぐっと冷え込み、日中との温度差もある日々が続いています。これから冬にかけてインフルエンザやノロウイルスの流行時期に差し掛かってくることに加え、コロナも存在する世の中で、体調管理と予防が大切になってきそうです。

この訓練は毎年行っており、例年炊き出しは備蓄用の防災食を提供しています。ですが、今年は鉄板を使用して焼きそばを作り、スープとともに提供しました。

この日は厨房職員総出となり調理や盛り付けを行いました。焼きそばの作成に関しては初めてのことで戸惑いもありましたが、当日は問題なく行うことができました。当日は問題なく行事食としては10月9日スポーツの日に、久しぶりにおにぎりを提供しました。鮭とわかめの二種類の具でおにぎりを作りました。久しぶりの提供に、「たまには良いね」「美味しい」とのお声を頂き、作り手側としては嬉しい限りでした。

今後とも祝日や行事の際にはできる限りその日に合ったものや旬の食材を使用したいと考えています。よろしくご活用ください。



スポーツの日に提供したおにぎり（鮭・わかめ）

令和5年度・中途採用正職員募集のお知らせ

正職員を採用しております。給与20万以上（高卒以上、資格、経験で上積みいたします。）各種保険・年金・退職金完備。新卒以外にも、子育て中の主婦の方、転職の方々も活躍されております。

お問合せ先：電話 042-550-3030 / メール info@komorebinosato.or.jp 担当 宮林



芸術の秋 文化祭開催予定

こもれびの郷では、毎年十一月に文化祭が行われます。例年ですと大規模に作品を募集し、利用者様、ご家族様、ボランティアさん、そして職員が自信作を出品し、それらを所狭しと展示しております。

本年はご存知のとおり新型コロナウイルスの影響で、中止も含め様々な方法を考えましたが、少しずつ以前の規模に近づけていくように努力することがなりました。展示数は減ることが予想されますが、利用者の皆様には可能な限りお楽しみいただきたいと思います。

なお、外部非公開ですが、久しぶりに八王子の共立女子第二中学校コーラス部の皆さんが文化祭イベントとして来園してくださることとなりました。お楽しみに。

感染症対策実施中

以下の感染症対策を行っております。

利用者の皆様の安全のため以下ご協力下さい。

- ・ご面会の一部制限
- ・利用者様の外出外泊停止
- ・ボランティア活動の停止

皆様以外でご面会に来られる方にもお伝え下さいませ。



ケーキがおいしそうですね

お誕生日おめでとう ございます

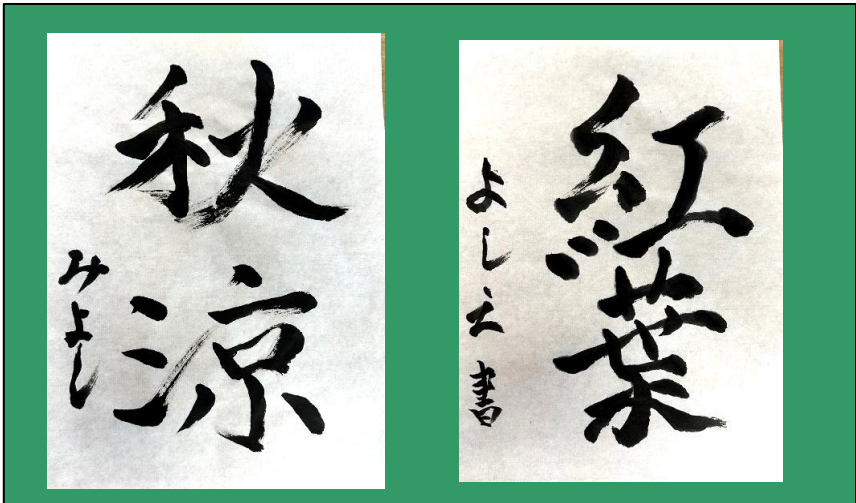
こもれびの郷では、利用者の方のお誕生日の月に、その方に合わせたお祝い、バースデー企画を行っております。

近隣の外出なども可能なのですが、ご時世もあり現在はホーム内での誕生パーティーが人気となっております。

早く平和な時代が戻ってくることを祈らずにはいませんね。



さわやかな風のなかで



書道クラブ作品

今月の芸術家



職員が順番に体験

からり施設散歩の旅

フアイル2007 「煙体験」

防災訓練ではじめて「煙体験」なるプログラムを体験しました。黄色の仮設テントに無害の煙を充填させて、その中をくぐりぬけるという内容ですが、煙に視界をふさがれると思いのほか怖いということがよくわかりました。

俳句川柳 クラブ傑作選

芦の根の 水澄み透り 鳴の鳴く (渡邊吉氏)

ススキの穂 秋の七草 ふじばかま (庄司氏)

くねくねと 紅葉狩りに いろは坂 (石川氏)

秋葉山 散歩がてらの 紅葉かな (吉川氏)

着陸の 眺める先に 深秋か (加賀谷氏)

紅葉の葉 川の流れに 鮮やかに (清水氏)

秋の夜の 月の明かりで 本を読み (栗野氏)

ボランティア通信

活動見合わせ 期間延長のお知らせ

新型コロナウイルス流行がまだ終息しておりません。利用者様の安全を守る為にも引き続き活動休止期間を延長させていただきます。

再開時期は未定ですが、決まり次第この「こもれび新聞」でお知らせしたいと考えております。何卒ご理解の程お願い申し上げます。

<11月の行事>

- 1 水 文化祭準備
- 2 木 華道クラブ
- 3 金 理容の日
- 4 土 療法士指導
- 5 日 文化祭準備
- 6 月 文化祭見学週間はじまる
- 7 火
- 8 水
- 9 木
- 10 金 理容の日、防災訓練
- 11 土 療法士指導
- 12 日
- 13 月
- 14 火 音楽クラブ

- 15 水 菓子配達
- 16 木 都立多摩高校インターンシップ
- 17 金 理容、アロマクラブ
- 18 土 コーラス部来園、療法士指導
- 19 日
- 20 月 手芸クラブ
- 21 火 散歩クラブ
- 22 水 青蛾珈房
- 23 木
- 24 金 訪問美容、利用者懇談会
- 25 土 療法士指導
- 26 日
- 27 月 散歩クラブ
- 28 月

- 29 水 書道クラブ
- 30 木 茶道クラブ

<12月の行事> ※変更の可能性あります

- 1 金 理容
- 2 土 療法士指導
- 3 日
- 4 月 クラブ活動
- 5 火
- 6 水
- 7 木 クラブ活動
- 8 金 理容の日
- 9 土 療法士指導
- 10 日

